

## 地域防災支援担当者の委嘱式・研修会

令和元年7月10日に今年度の地域防災支援担当者委嘱式と研修会を実施しました。当日は今年度の委嘱者16名中14名にご出席いただき、荒井知事より委嘱状が交付されました。また委嘱式の後には奈良県安全・安心まちづくりアドバイザーの坂口幹彦さんに「～防災・減災～『地域コミュニティと連携から』」と題して講習を実施していただきました。講習の概要については1ページのコラムをご参照ください。

### 委嘱式



### 研修会



## 地域防災支援担当者制度について

### 制度の概要

奈良県では地域防災力の向上を図るため、在住者、出身者など、地域ゆかりの県職員OB（現職員も含む）が地域住民とともに防災の知識を身につけ、平常時から地域の自主防災組織等で地域の一員として活動する、「地域防災支援担当者」制度を昨年度からスタートさせています。

### 創設の背景

災害時において命を守るためには「自助」「共助」が重要だと言われています。

阪神・淡路大震災では、生き埋めや建物等に閉じ込められた被災者のうち、消防などの専門の救助隊から助けられたのは、全体の僅か1.7%でした。この時、救助された人の実に95%は、自力または家族、近隣の人々によって救助されました。

自助に対する意識を高め、共助を担う自主防災活動の活性化による地域防災力の向上を図ることが大切です。特に昨年度は大阪北部地震、平成30年7月豪雨等大規模な災害が立て続けに発生し、自助、共助の重要性が再認識されました。